

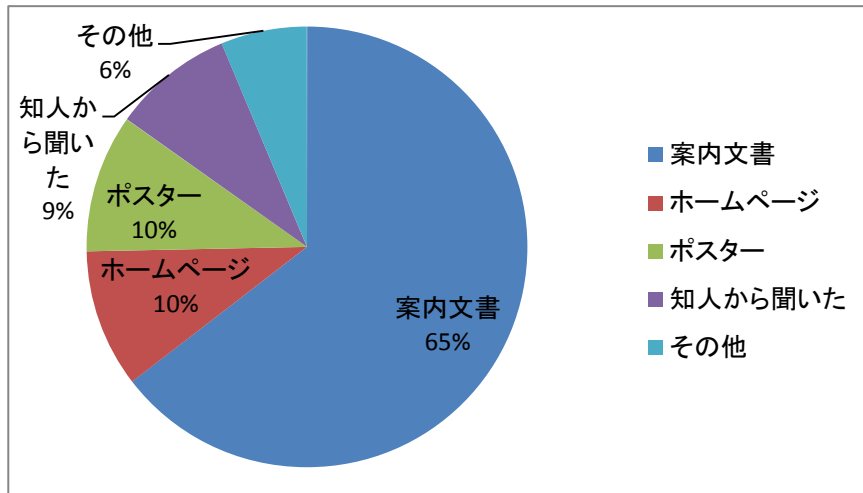
## 【沿岸域における漁船漁業ビジネスモデル研究会第2回研究大会アンケート集計結果】

### 1. 本日のシンポジウムについてどこで知りましたか

案内文書	51
ホームページ	8
ポスター	8
知人から聞いた	7
その他	5

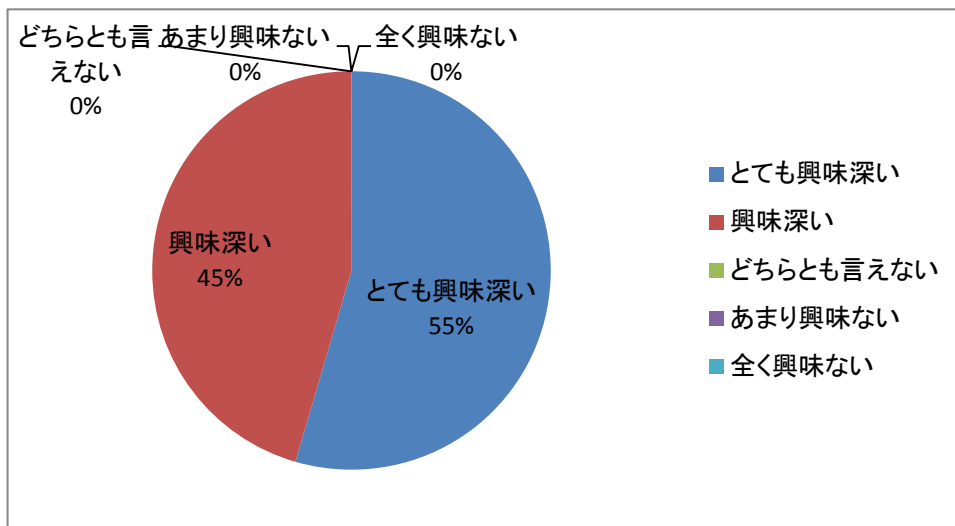
#### その他の詳細

- ・メールでの案内
- ・メールマガジン
- ・コンピーナのお声かけ



## 2. 本シンポジウムのテーマ「みんなで考える魅力ある漁業」についてどのように感じられましたか

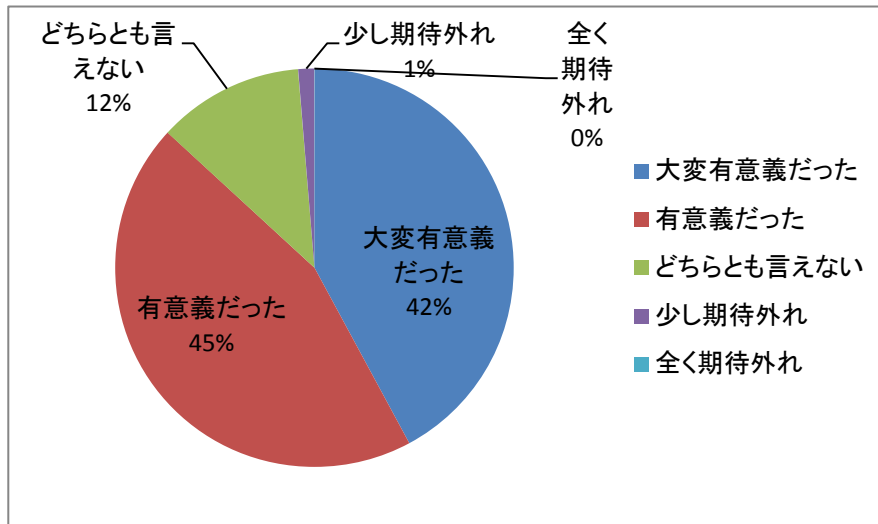
とても興味深い	42
興味深い	35
どちらとも言えない	0
あまり興味ない	0
全く興味ない	0



### 3. シンポジウムについて感想をお聞かせください

#### 1) 参加してみようでしたか

大変有意義だった	32
有意義だった	34
どちらとも言えない	9
少し期待外れ	1
全く期待外れ	0



(原文のまま)

- ・漁具改良の状況がよく分かった。現場への普及が進んでいないことも含めて。
- ・シンポジウム全体の方向性が欲しい。もう少し絞った方が良いのではないか。
- ・各方面の皆さんのお話しが良かったです。
- ・フロアからの意見の時間をもう少し取って、多くの立場の人々の意見が聞ければもっと良かったと思う。
- ・底曳きの話が少ない。
- ・多方面からの新しい情報が有意義だった。
- ・議論する内容は、非常に有意義だと思うが、地域性が強い内容なのではないかと思う。
- 従って参考しづらい部分もある。わかりきったことを言うのではなく、よりつっこんだ話をもっとあっても良かったのではないか。
- ・小底にもう少し焦点を当てても良かったのでは？
- ・色々な立場の人たちの主張が聞けるのが有意義だった。
- ・漁の現場で、どのような意識(資源保護への取り組み、MSC、海底への影響等)が働いているかその一端を知ることが出来た。また、発展している業界に比べ、おいてきぼりをくっている感があった。魚食文化に対する世間の評価をそのまま映しているよう……。
- ・色々な立場、所属の方々の意見を聞くことが出来た。又、現実的な問題等を直視し、考えることが出来た。
- ・各方面での意欲的な活動を知ることが出来た。
- ・個々の課題はもっとトピック的なものでも良いのでは？(前振り、概況説明は不要。結論明白に。)
- ・流通も大事だが、生産者の関与の仕方をもっと議論していくことが必要。
- ・現場の指導に役立つ情報を入手できた。
- ・普及員としての情報収集。見識を広げる、という意味で大変有意義だった。
- ・実際の漁師の文句なども聞くことが出来た。
- ・現場の声が聞けた。
- ・多くの立場の人を見られた。
- ・もっと小底に特有の掘り下げ方をして欲しかった。
- ・学術的な会合とは異なり、多彩な演者から現場の生の詳細な話を聞くことが出来た。
- ・自分のもつ研究テーマ(未利魚の利用)に近い内容だったため有意義だった。
- ・参加者がバラエティーに富んでおり、色々な方面からの意見が聞けた。
- ・他分野の話を多く聞くことが出来た。
- ・生産・流通・販売を一体にしたシンポジウムを企画していただいたのは、大変有意義。

そのことが参加者数に現れていると思う。

- ・最近のトレンド把握。

- ・色々な立場からの話が聞けた。

- ・色々な分野からの話, 直接的な話が聴けた。

- ・現在分かっている問題点を再確認したところで終わった印象。

- ・漁業者, 研究者, 流通業者, 加工業者, メディア…と色々なコンポーネントの方々が, それぞれの立場からの「生の声」を聴かせて頂けて, 大変有意義だった。

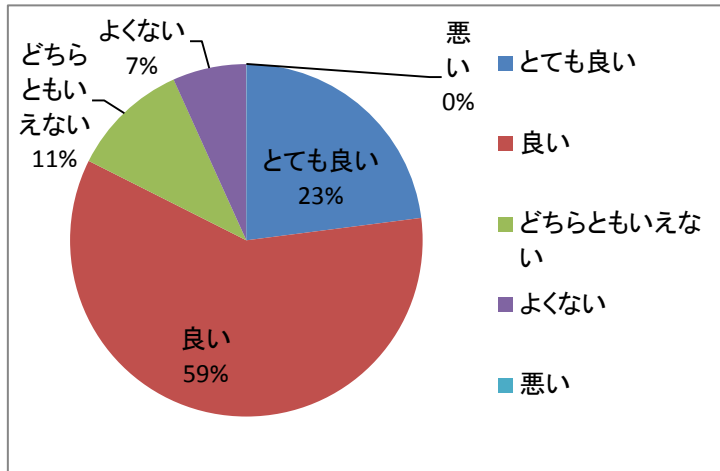
- ・漁業者, 行政, 流通, 学者が普段交じり合えないのに, このような場でそれぞれの立場で話を聴けて意見が言えて良かった。もっとやって欲しい!

- ・「小底」という一つの漁法にテーマが絞られているのが, 非常に良かった。

自分の直面している課題をイメージしながら, 参加することが出来た。

### 3. 2)全体の構成

とても良い	17
良い	44
どちらともいえない	8
よくない	5
悪い	0

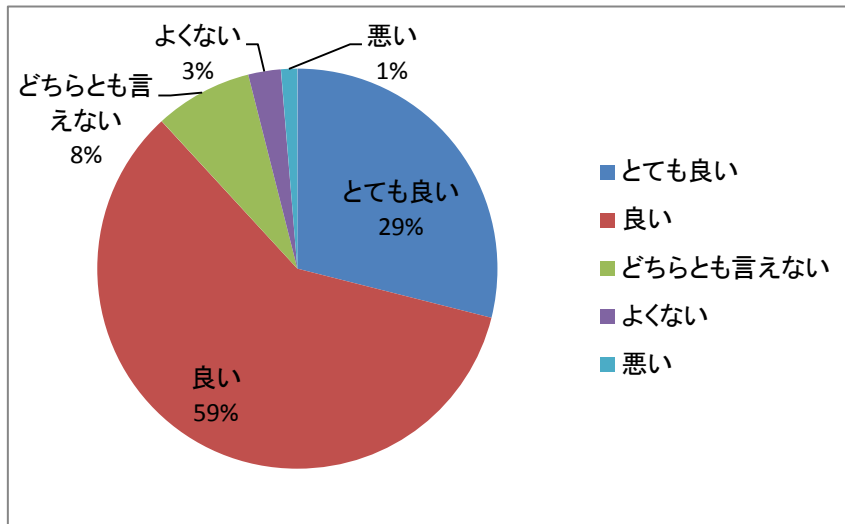


(原文のまま)

- ・パネルディスカッションの時間が長い方が面白い。
- ・前半が学者の理論，後半が実際の現場，偏りがなく関連が分かりやすい。
- ・第1部と第2部のつながが悪い。1部は必要だったのか？
- ・幅広い話で良かったのでは。
- ・内容は多いがタイト。
- ・パネリスト(2部)の持ち時間が少ない。
- ・内容のバランスが良かった。
- ・「みんなで考える」のタイトルの意味があまり生かされていなかったのではないのでしょうか……。
- ・生産，流通，販売，研究それぞれの立場からの意見交換がされていたので良かった。
- ・成功例，失敗例，ハッキリした発表でも良いのでは？  
(経緯や背景詳しく説明しすぎて，肝心なところがボヤけてしまうのでは)
- ・シンポの趣旨から見て良いと思います。
- ・もっとパネルディスカッションの比重が高くて良い。
- ・底曳き網の導入から底曳きの将来をどうするか，流れるように議論されていたから良かった。
- ・内容のバランスが良かった。
- ・概要→意見提示→ディスカッションの流れが分かりやすく良かった。
- ・パネリストのバランスが良い。
- ・第1部はもう少しコンパクトで良かったかも知れないと思いました。
- ・各方面の識者から話をして貰うことは有意義だが，各人の発言時間が短くなり，どれも中途半端(良い足りない)になった感じもする。
- ・小底と流通を繋げるには，時間が短かったです。流通に絞った方が良いように思います。
- ・発表時間が少し短い。
- ・最後の討論の部分が短い。
- ・各発表間で被っているところがなく，密度の良い話が聴けた。
- ・最初の漁具改良の話は専門的過ぎ。今回の様な小底漁業をどう盛り上げていくか，という点では，後半のパネルディスカッションにもっと時間を掛ける方が良い。

### 3. 3) 講演者, パネリスト, コメンテーターの人選について

とても良い	22
良い	45
どちらとも言えない	6
よくない	2
悪い	1

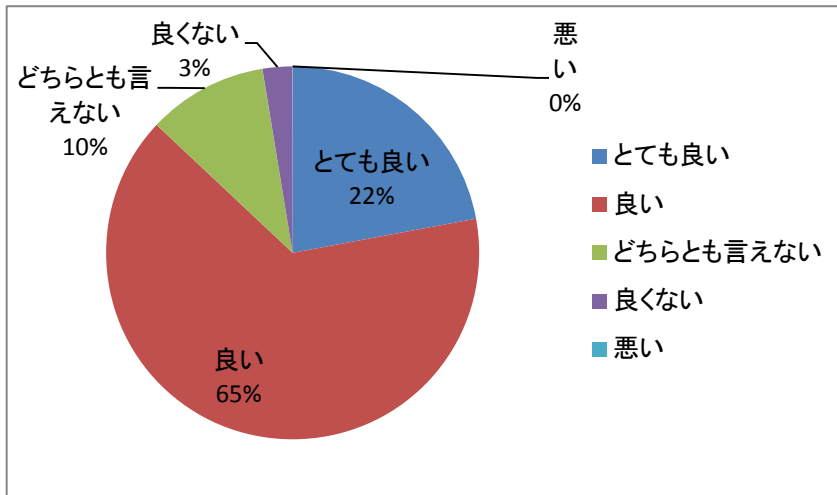


(原文のまま)

- ・各界のパネリストを呼んでいるのが良い。
- ・生産者・流通・小売りまで問題点と現在における解決策を紹介して頂ける方達でした。
- ・パネリストに官公庁の人を入れたらどうか。
- ・仲買い(流通)側の人居たのが良かった。
- ・広告業の立場を表す人がパネリストとして発表するのは、良いアイデアだと思う。
- ・多方面からの人選が良かった。
- ・消費者不在(肝心の消費者の参加がない)。残念。
- 消費者が魚を購入するのは小売店ばかりではない。もっと外食産業に目を向けるべき。
- ・山根さんの話を聞きたくて来ましたが、漁師さんやスーパー売場に詳しい方などいろいろな話が聞けて良かった。知らないことが多かった。
- ・問題を非常に明確にしていた。
- ・現場の声が聴けた。
- ・研究者だけの報告、発表でなくて良い。
- ・考え方が明確。
- ・多方面からの意見は比較もでき、参考になった。
- ・幅広くて良いと思った。荷受けさんも入っていればもっと良かった。
- ・様々な立場の人からの発表で、対極する内容もあって面白かった。
- ・産学官のバランスが良かった。
- ・良いが、消費者は何を考えているかを詳しく説明できる人がいれば、もっと良かったのではないかな。
- ・水産から少し離れた西原さんの意見は面白かった。視点が新しく、ハッとさせられた。
- ・様々な立場の人から話を聞けた。
- ・バラエティに富んで良いと思う
- ・2部の内容に1部が反映されていなかった。
- ・業種が幅広い。
- ・バランスが良く、色々な立場の方がいらしていた。
- ・話を聴いてみたい人が多かったので(山根さん、上田さん、田中さん、太田さん)とても良かった。
- ・漁協の職員や、零細漁業者(一人から二人乗り)の話も聴ければなお良かった。

### 3. 4)開催の時間帯について

とても良い	17
良い	50
どちらとも言えない	8
良くない	2
悪い	0

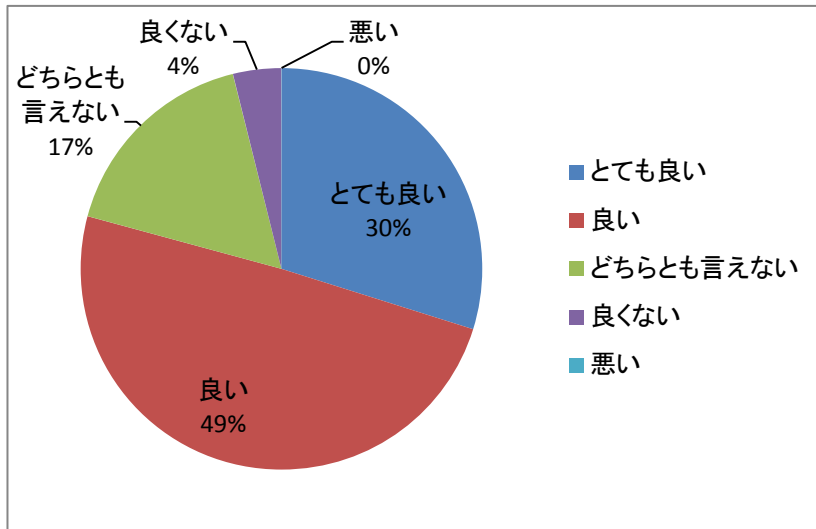


(原文のまま)

- ・スタートがもう少し早くて良い。
- ・参加しやすい。
- ・少し長いように思う。
- ・時間設定は良いが、内容が多い。消化不良。
- ・内容に比べて全体の時間が短すぎる。
- ・消費者(子供がいる)にとっては、一番興味のある部分が午後の遅い時間だったので、参加はしにくいと思った…。誰を(どんな消費者を)巻き込みたいかを考えると、現実的では……。
- ・半日で済む関係。??
- ・遅くなく、早くなくちょうど良いです。
- ・遠方から参加するには、午後からが良い。
- ・全国から集まりやすい。
- ・どちらかと言えば、お昼を挟むような形で、休憩時にも意見交換が出来るかと、内容が濃くなると思います。
- ・交通のアクセス考慮して、少し時間をずらして貰えれば更に良かった(13:30-)。
- ・特に問題ない。
- ・もっと時間を長く欲しい。
- ・アクセスしやすい時間帯。
- ・ちょうど良いです。

### 3.5) 場所について

とても良い	23
良い	38
どちらとも言えない	13
良くない	3
悪い	0



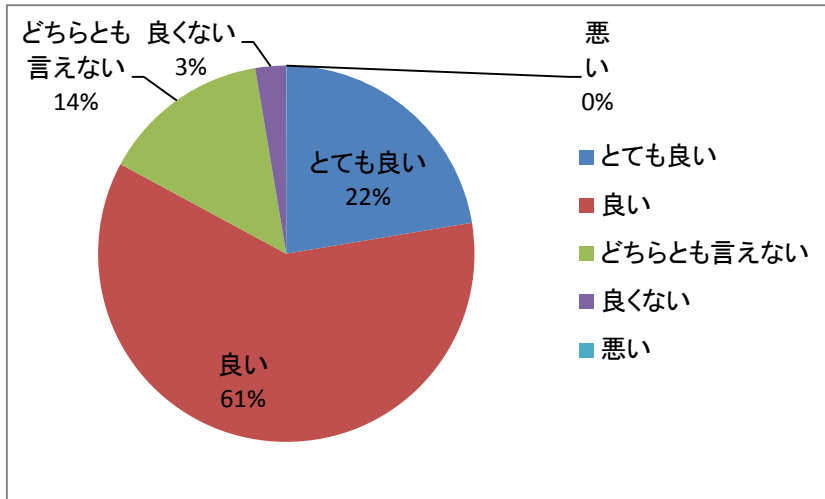
(原文のまま)

- ・交通の利便性が良い。
- ・横浜は少し遠い。
- ・交通の便がよい。楽。
- ・交通のアクセスが良い。
- ・地方からの出席に分かりやすい場所にして欲しい。
- ・交通の便が良い。
- ・神奈川に職場があるためとても良い。
- ・横浜は交通が良い。
- ・集まりやすい。
- ・地方からのアクセスが良い。
- ・駅前で良かった。
- ・アクセスもそれほど悪くない。
- ・羽田空港からの利便性は良いのでは。
- ・駅からのアクセスが大変良い(会議室にたどり着くまでは分かりにくい)。
- ・駅から近い。交通の便が良い。
- ・もう少し細かな案内を。すぐ分かる場所ではない。
- ・駅に近い。
- ・音響(ハウリング)が良くない。
- ・アクセスが良い。
- ・場所が分かりにくかった。横浜駅周辺だったら便が良い。
- ・どこからもアクセスしやすい。



### 3. 6) 進行について

とても良い	17
良い	46
どちらとも言えない	11
良くない	2
悪い	0

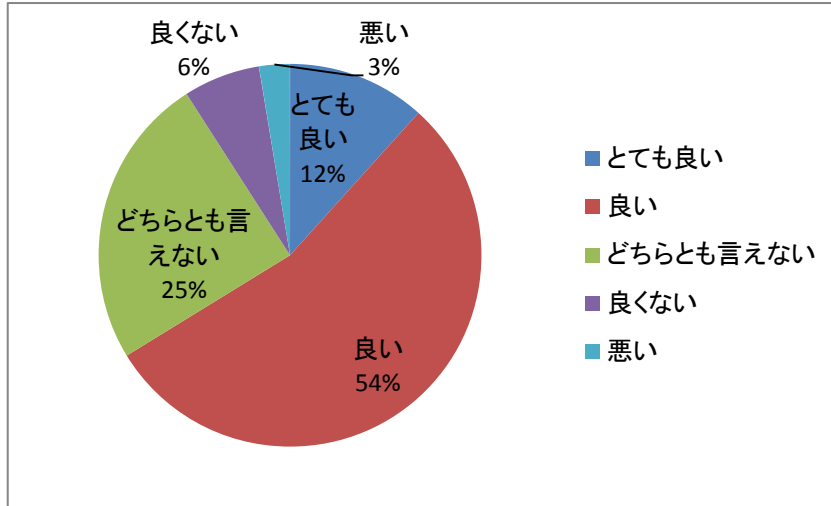


(原文のまま)

- ・ほぼ時間通りの進行(もっと長引くと思った)
- ・冗長にならず, 退屈せずに聴けました。
- ・コンビーナの進行が良かった。
- ・元々の時間構成に無理があるため, 進行はある程度やむなし。
- ・全体のコーディネートが上手であった。
- ・質問時間が十分にあったため良い。
- ・第2部のパネリストの講演, お一人10分は厳しい様子でした。パネリストの選立もよく考えられていた。
- ・最後に盛り上がって, 良かったと思います。
- ・もう少し意見交換に余裕を。
- ・進行司会がスムーズだった。
- ・司会がうまく取りまわしていた。
- ・スムーズでした。
- ・パネルディスカッションが不完全燃焼だと感じました。現場の方のお声を聴くのはとても大切ですが, 進行管理は難しいですね。
- ・時間がきつい。

### 3. 7) 時間配分について

とても良い	9
良い	42
どちらとも言えない	19
良くない	5
悪い	2

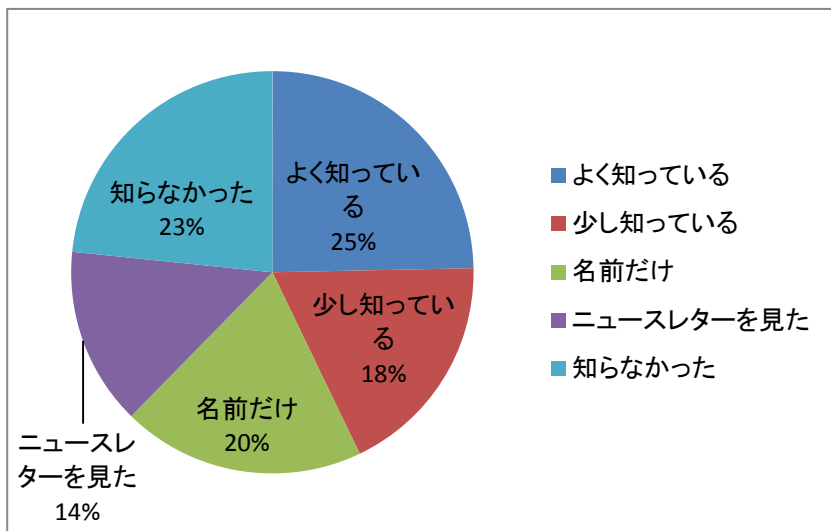


(原文のまま)

- ・パネラーの紹介(発表)が短い。パネルディスカッションの時間を長く取って欲しい。
- ・パネリストの話が短いのでは…。
- ・時間設定は良いが、内容が多い。消化不良。
- ・パネルディスカッションの一人あたりの時間設定が短すぎる。時間が足りない。
- ・「みんなで考える…」のタイトルの割にパネルディスカッションの時間が少ないと思った。
- 子供の迎いの都合もあり、一番聞きたかったところが十分聞けなくてとても残念です！
- ディスカッションがあるパネルディスカッションもあんまりないですけどネ……。
- ・詳細討議が良かった。
- ・質問時間が十分にあったため良い。
- ・個々の課題提供、もっとショートに。
- ・パネリストの方のお話しをもう少しゆっくり伺いたかったです。
- ・最後に活発に議論する時間を60分取っていたのは、非常に良かった。
- ・パネル紹介のスピーチが10分というのは、短いと思った。
- ・第1部が長かった。
- ・本当はもう少し長く話を聞きたかったです。
- ・話し好きな方が多いので、大変でしたね。
- ・時間が延び気味。
- ・時間がきつい。
- ・後半の部分をもっと充実させて欲しかった。
- ・第1部が長すぎる。
- ・時間が少し足りないと思いましたが、仕方ないことかとも思います。
- ・パネリストの話をもっと聴きたかった。

#### 4. 沿岸域における漁船漁業ビジネスモデル研究会についてご存じでしたか

よく知っている	19
少し知っている	14
名前だけ	15
ニュースレターを見た	11
知らなかった	18



## 5. 漁業や関連業界にとっての問題点や解決すべき課題についてお考えを聞かせてください

(原文のまま)

- ・魚価が低迷する時と資源状態が悪い時が重なった時に獲るのを我慢することは必要。
- ・6次産業化を考える時に、費用対効果について経営の勉強が必要。
- 漁師の片手間では失敗する。
- ・制度的、構造的な問題の解決なしに根本的な打開策は見えてないと感じました。
- ・近い将来、消費者は魚の丸ごとの姿を知らなくなるだろう。
- 旬の本当の美味しさも、自分では知ることなくなる。
- その時に、魚は食材としての魅力は残されるのだろうか？
- ・皆がやみくもに努力をしていると感じる。直感の一步先を目指すべき。
- ・漁業の世界のロジック、感覚が農業と違い、独特であることは承知しているが、農業を見習えという言い方は乱暴にしても、一般市民の感覚や目線を見ようとせず、自らのロジック、世界観の中のみで解決しようとしている。例えば、本日は「消費者」がキーワードとなっていたが、マーケティングの王道として、顧客のターゲットの絞り込みというところまで一歩踏み込んだ勉強にして貰いたい。
- ・漁業界における問題は、小底と共通。
- ・漁業者がどう売るかという点は理解できるが、漁業者が高齢化してその取り組みに加わることが出来ない。
- ・市場への新規参入を認めるべし。
- 既存の市場を見学会のとき、時々訪れているが、最も面白いのは牛肉の芝浦と青物だった。
- 大型動物の流通。
- ・魚価向上対策が重要だと思います。そのための手法は色々あると思いますので、考えていただければと思います。加工の高度化は、進むと思います。その中で消費者が払う金額に対する漁業者の利益の割合をもっと上げるべきだと思います。
- ・デフレ。
- ・全ての業界において、あのような震災を経験したにも拘わらず、危機管理の意識が希薄だった(例: 原発と真夏の計画停電の関係)。
- ・安易かも知れないが……農業で言うところのエコファーマー(環境保全型漁業)の様な取組みを消費者にも伝えるようにしてはどうでしょう？また、FB, SNS等の活用、農業の葉っぱビジネスのように、携帯端末を活用した販路の開発などはいかがでしょう(もう取り組んでいるかも知れませんが)……。私もtwitter漁師さんから魚を直接購入しています。海の様子を日々知りながら、食べる魚は格別です。地域によって色々な魚種があることなど、魚の世界の楽しさを、美味しさを私たち消費者に伝えて欲しいと思います。切り身には、丸(姿)の写真をはり付けて売ったらどうでしょう…(あくまでこの品種ですという例として)。
- 食べられる魚の生きてる動画(とび魚など)は子供が喜びました。賛否あると思うけど。
- 消費者とつながることが大切かと…誰に食べさせたいのか…うーん書ききれませんが…魅力が伝わってないっ！
- ・一次産業に興味があり、益々活発になって欲しい。農業、漁業、林業も同様です。
- ・魚価の向上の為に、魚の品質向上に益々、努めてもらいたい。
- ・混獲された魚の利用、Discardingの防止、そして消費者の意識改革、「常にこの魚が市場に並ぶ」というわけではなく、旬の魚を食べることが必要であると考えます。
- ・安定な収入で安心して若い人達が、漁業を職業として受け入れて貰えるような位置づけにすること。
- ・大中まき網の操業、VMSの運用の厳格化。
- ・漁業者と消費者との接点が重要。
- ・関係者の行動力、実行力、チャレンジ精神が必要。
- ・一歩も二歩も踏み込んで、掘り下げた工夫、努力が必要(ありきたりのことをやるだけではダメ)。取組の継続性が必要。
- ・様々な問題を抱えている水産業界は、漁師の意識改革が必要。
- ・儲かる漁業を妨げる要因が、複数重なる今の世の中が問題。
- ・この分野は漁業の科学化が遅れていると感じます。国策での対応が必要。
- ・県の漁業センターが、沿岸漁業振興のために、新規資源調査を行う考えは、非常によいと感じた。
- ・高齢化対応の為に技術開発が必要。
- ・マグロやウナギばかりに目が向いている零細の漁業者にももっと目を向けるべき。
- その意味でも本シンポは重要。
- ・小底の非利用(安いので捨てていない等)資源の収入化。

- ・漁業者と仲買い・販売者との距離間。
  - ・漁業は「産業」であるのに、利益に関する取組(研究)が少ない。
  - ・今回のような取組、考え方が広がることは、間違いなく有意義だと思います。
  - ・何故利益が出ないのか、お互い共有問題として考えて行かなくてはいけないと思う。
  - ・情報の共有化等、広く進めて行くべき。
  - ・漁業者と消費者との距離を近づけるか。
  - ・回転寿司。魚の美味しさを知らずに大人になっている。
  - ・漁業者の新規参入を阻んでいる。
  - ・業界が、たかり体質。
  - ・漁船を持って償却出来ない。漁獲量減少。オイル高騰について、もっと考察してはどうか。
  - ・美味しい魚の食べ方を小学生に知らせること。例えば、塩焼など刺身ばかりではない食べ方。
  - ・農業と比較して「産直」の取り組みが遅れている。
  - ・人材育成。
  - ・魚価の低迷。
  - ・大手消費に大きな問題があるが、地方の地先にも問題があると感じた。
  - ・この先、考えてゆきたいと思っています。大変興味深かったです。
  - ・研究、行政→試験・研究結果を迅速に浜に伝える(研究のための研究ではダメ)。
- 現場の漁業者に向けた情報発信が大事。
- ・流通→商売のヒントはなかなか話せないだろうが、獲る人間やそれを支える人間にどんどん発破を掛けて欲しい。連携しにくいと思うが、行政、研究にも意見を投げかけて欲しい。
  - ・漁業者→やる気ない、元気ない浜をどうしていくか？魚安い、燃油高いのグチだけで行動を起こさない。もっと辛口でも良いのでアピールして。みんなに漁業を知って貰う努力をして欲しい。
  - ・高齢化、後継者不足がやはり深刻。儲かる、儲からないの問題もあるが、漁業の「負の既成概念」が問題。儲からない業界だと思いません(不景気は漁業だけではない)。(漁師を含めた)社会全体に漁業は斜陽産業だという気運がある)。

## 6. 本シンポジウムや研究会についてご自由にご記入ください

(原文のまま)

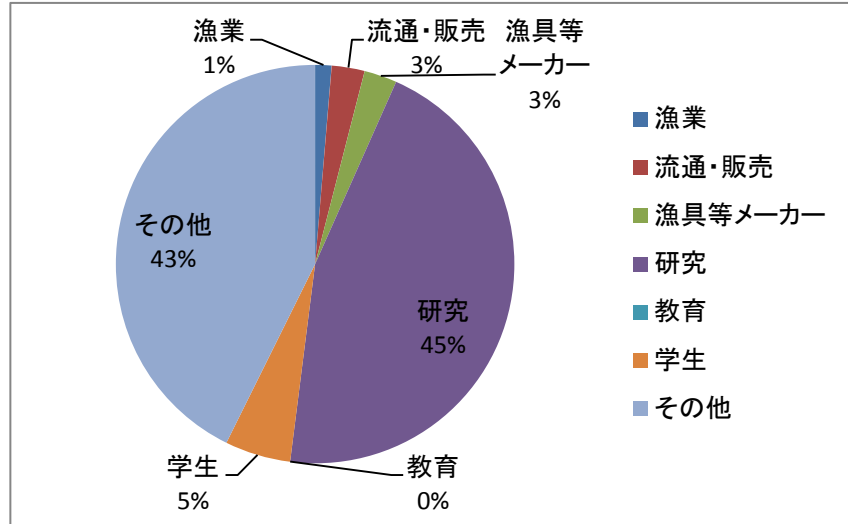
- ・船曳きもやって欲しい。
- ・敢えて多業種、広い業界の方々をパネリストに呼んで、多様な視点から議論を展開できるようにセッティングされていることに共感を持ちました。
- 大変意義のあるシンポジウムだったと思います。
- ・最終的な効果の定量化にも力を入れて欲しい。
- 個別具体的な技術は、既に高いレベルにあるのではないか。
- ・本研究会は、おそらく庁内でも幅広く知られていない。水産庁の職員として、恥ずかしいところでもあるが、もっとアピールし、マスコミを入れる、などするのも手ではないか。
- ・かなり昔から問題は皆が共通で認識しているが、明確な進捗がみられない。解決の糸口がつかめない。川口会長の発言のとおり、魚の安定供給に対する国民全体の危機感が必要？全体で代価の支払いが必要？
- ・消費者のコメンテーターが出てこないのは、なってない様に思う。
- ・もっとアカデミックな部分があっても良いのではないのでしょうか。
- ・魚価を高める工夫は、ミクロ的には良いかも知れないが、マクロ的な解決にならないのでは？儲かっている漁業を見てみたい。
- ・更なる活性化に期待したい。
- ・内容が非常に充実していた。
- ・議論を絞って行くためのテーマ設定が望ましい。研究大会を続けて行く中で、幅広いテーマと絞り込みが交互に行われるような設定がないと、議論が拡散してしまいがちである。
- ・スクリーンが後方からも見えるように、斜めに傾けられませんか？
- ・漁業者と消費者の接点のためには、シンポジウムか研究会に消費者も参加。
- ・勉強会的な催しだと、面白味に欠けるのでは。もっとソリッドな課題に特化。議論巻き起こすような刺激的な進行にしても良いのでは？
- ・大変勉強になりました。その他の漁業種類でも研究会を開催して欲しい。
- ・まだ、何も知らない大学2年なので、現場の生々しい意見が聞けて良かったです。今後の研究に生かしたいと思います。
- ・結果論であるが、「消費者への啓蒙が大事であり、～の活動をすべき」との意見は多く出てきたが、「消費者はどう思っているのか」を述べる人が居なかった。そのような意味で、次は消費者に詳しい人を呼んでも良いと感じた。
- ・小型漁船漁業の開発研究が行われるようになって良かった。刺網や釣り等の研究も行って欲しい。これらは技術の伝習面にも役立つと思う。
- ・今日の内容の多くは対処療法であると感じた。なぜ魚価が低迷してきたか、養殖、輸入など水産業全体の問題と併せて議論しなければ、抜本的な解決はなく、このままジリ貧になっていくだけではないか。
- ・漁業全体の問題についての議論が多く、小底に絞りきれなかった感がある。
- ・もう少し具体的なモデル事例の紹介があると思っていたが？
- 様々な立場の方からの話を聞いたことは参考となった。
- ・今後も続けて貰いたい。
- ・西原さんは大ヒットだと思います。違った視点から興味深い話が聞けました。
- ・それぞれの方の話が面白く聞けた。
- ・とても広く意見が聴けたので有り難かった。
- ・販売を通して漁業を改革していく狙いは理解できる。
- ・問題解決に対する、ロジカルなまとめ(方針、戦略)が必要
- ・面白い取組み。
- ・ポイントをしっかり絞った討論が出来ていて良かったと思う。
- ・もっとアピールして良いのでは？今回の様な現場と流通、行政、研究を結び付ける必要が今後重要だと思う。小底は良いテーマだったと思う。継続してやって欲しい。
- 次は消費者にも来て貰えるようなシンポジウムをやってはどうでしょうか。
- ・飛行機に乗って、はるばる来た甲斐がありました。有り難う御座いました。

## 7. (1)業種

漁業	1
流通・販売	2
漁具等メーカー	2
研究	34
教育	0
学生	4
その他	32

### その他の詳細

- ・出版
- ・水産庁
- ・農林業
- ・行政
- ・消費者
- ・普及員
- ・部品供給メーカー
- ・ITコンサルティング

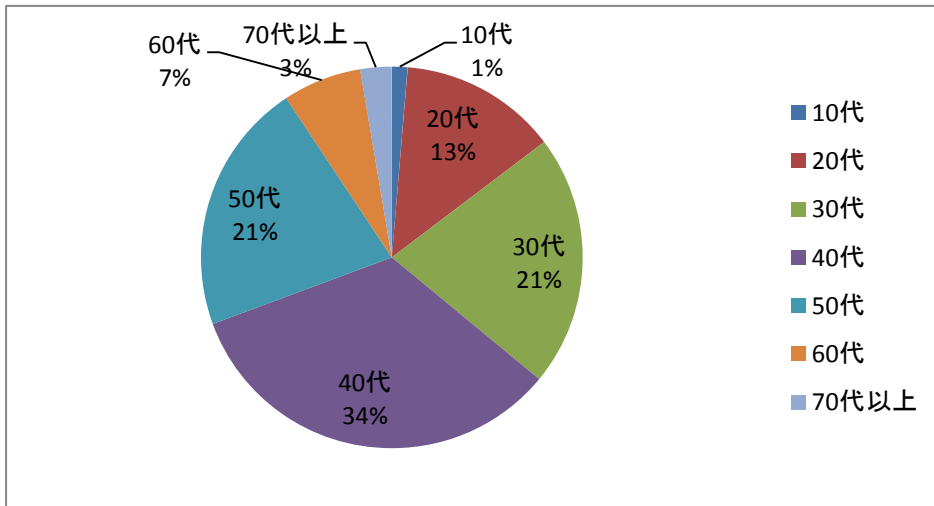


(原文のまま)

・「みんなで考える」なのに、消費者という選択肢がない…のは悲しいですー。

## 7. 2) 年齢

10代	1
20代	10
30代	16
40代	25
50代	16
60代	5
70代以上	2





7. 3) 性別

男 66  
女 7

